

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和3年6月調査）

茨城県では、本県の景気に関する生の情報を得るために、県民から景気の状態を3か月ごとにアンケートで情報収集する県独自の景気ウォッチャー調査を平成14年から行っています。
この度、令和3年6月の調査結果がまとまりましたので、概要を以下のとおり公表します。

1 調査結果

～ 景気の先行き判断DIは2期連続で50を上回る ～

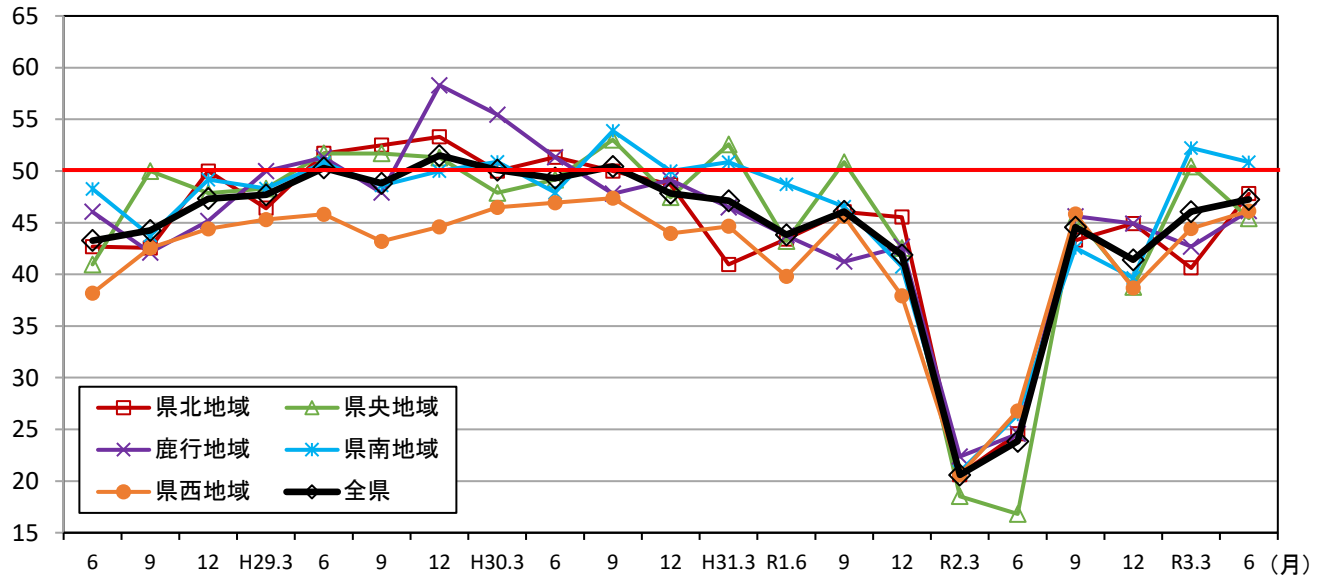
☆ここがポイント

区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI (Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気 directional (景気が上向きか下向きか) を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比 (%) で乗じてDIを算出している。 <参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
	6月調査結果	前回調査との差	6月調査結果	前回調査との差	
県全体	47.3	+1.2	56.0	+3.3	
県北	47.8	+7.2	52.6	+5.7	
県央	45.4	-5.0	57.5	-1.4	
鹿行	46.1	+3.4	55.2	+1.8	
県南	50.9	-1.3	59.9	+6.3	
県西	46.1	+1.7	54.7	+4.2	

○県全体の景気現状判断DI、景気先行き判断DIともに前回調査から上昇し、先行き判断DIは2期連続で50を上回った。

○ウォッチャーからは、現状判断については新型コロナウイルスに関するコメントが、先行き判断についてはワクチン接種やオリンピックに関するコメントが、多く寄せられた。

(DI) 景気現状判断DIの推移（地域別）



〔調査の概要〕

- ・ 調査客数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和3年6月5日から20日まで）
- ・ 回答率 … 97%（300名中291名から回答）

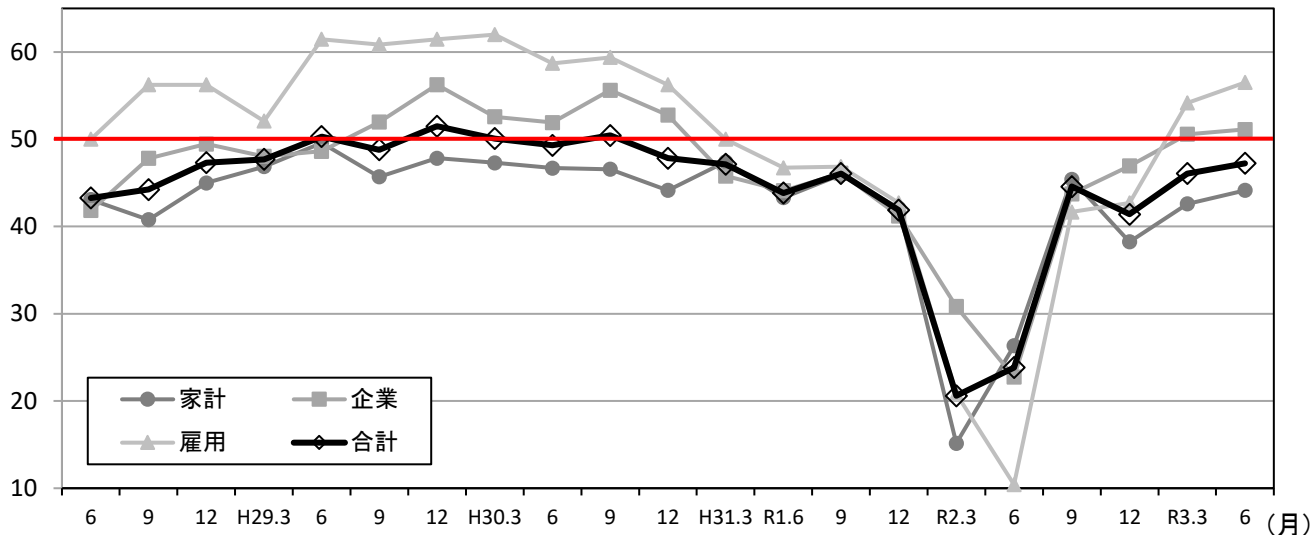
（地域区分）
 県北地域：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
 県央地域：水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
 鹿行地域：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
 県南地域：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
 県西地域：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

2 県全体の動向

(1) 現状判断DI

(DI)

景気の現状判断DIの推移



分野	調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
合計		23.8	44.6	41.4	46.1	47.3
家計動向関連		26.3	45.4	38.2	42.6	44.1
小売関連		35.2	42.1	42.9	41.7	38.7
飲食関連		17.5	47.4	31.0	28.9	42.7
サービス関連		19.7	49.0	36.8	45.9	49.7
住宅関連		39.3	35.7	31.3	53.1	44.4
企業動向関連		22.8	43.8	46.9	50.6	51.1
農林水産業		21.4	33.3	37.5	50.0	54.2
製造業		24.0	47.4	48.5	51.6	49.5
非製造業		21.3	40.4	46.4	49.2	52.9
雇用関連		10.4	41.7	42.7	54.2	56.5

景気の現状判断DIは47.3となりました。前回調査より1.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より1.5ポイント上昇したものの、24期連続で50を下回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より0.5ポイント上昇し、2期連続で50を上回りました。

雇用関連DIは、前回調査より2.3ポイント上昇し、2期連続で50を上回りました。

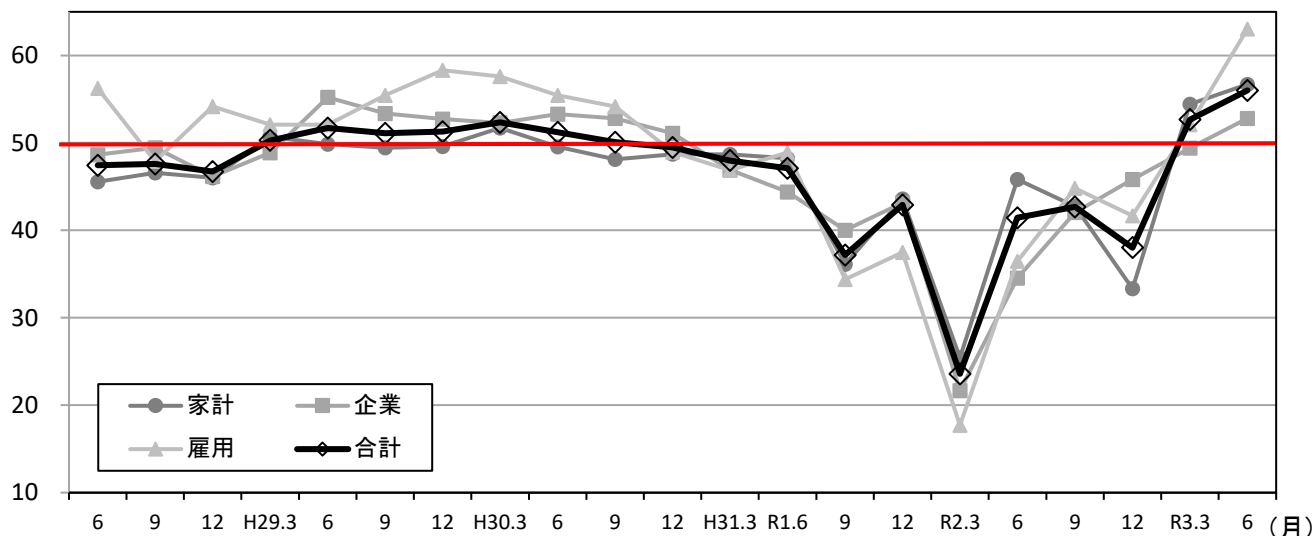
《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(県北：小売業(水産物)) 集客数はほぼ横ばいだが、購入価格が平均して上がらない。安価な商品がよく売れる。
- ・(県央：スーパー銭湯) 3か月前の第1、2週と比較して客数86%、売上げ86%となっており、やや悪くなっていると判断した。土日の客数は変わらないものの、平日の客数が下がっている。
- ・(鹿行：製造業(電気機械器具)) 自動車業界は、全般的に新型コロナウイルスの影響や電子部品の調達困難などで、生産調整が余儀なくされてきたが、ここに来てやや受注が増えてきた。
- ・(県南：タクシー運転手) タクシーの利用客及び外出者の数は微増している。基本的に夜の動きは依然と変わらず戻りはしないが、午前中からお昼過ぎにかけては通院の送迎、ワクチン会場への送迎が増えている。一般客の多くは印象として、依然タクシー利用をせずに移動している傾向にある。
- ・(県西：求人开拓員) 企業の求人数はゆるやかに上昇傾向が続いており、相談にくる求職者数も4月以降特段の増減がなく推移しているようなので景気は良くなりつつある状況と思われる。

(2) 先行き判断DI

(DI)

景気の先行き判断DIの推移



分野	調査年月	令和2年 6月	令和2年 9月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月
合計		41.5	42.7	38.0	52.7	56.0
家計動向関連		45.8	42.8	33.3	54.4	56.7
小売関連		43.6	41.8	35.4	51.4	52.1
飲食関連		57.5	44.7	28.6	55.3	58.3
サービス関連		45.7	44.5	31.9	57.2	63.7
住宅関連		35.7	28.6	40.6	53.1	30.6
企業動向関連		34.6	42.0	45.8	49.4	52.8
農林水産業		35.7	37.5	50.0	53.6	50.0
製造業		38.5	43.8	47.4	46.8	53.1
非製造業		28.7	40.4	42.9	52.3	52.9
雇用関連		36.5	44.8	41.7	52.1	63.0

景気の先行き判断DIは56.0となりました。前回調査より3.3ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

家計動向関連DIは、前回調査より2.3ポイント上昇し、2期連続で50を上回りました。

企業動向関連DIは、前回調査より3.4ポイント上昇し、10期ぶりに50を上回りました。

雇用関連DIは、前回調査より10.9ポイント上昇し、2期連続で50を上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・ (県北：日本料理店) ワクチン接種もあり、少しずつ感染対策も緩和になると思う。それに伴い外出ができるようになり観光、買物、飲食等への客の動きは活発になってくると思う。
- ・ (県央：都市型ホテル) ワクチン接種の割合増加に伴い、個人需要である宿泊や婚礼などは徐々に回復しそうな予感がするため良くなると判断する。
- ・ (県南：サービス業) 保留されていた案件や新たな案件の引合いが目立ち始めてきている。ワクチンの接種が進み人の往来が戻れば、これまで保留していた商談が一気に進む可能性があり期待感も出てきた。
- ・ (県南：タクシー運転手) 倍増ではないにしても、外に出る人の量は増加していると思われる。理由として、オリンピックによる人手の増加は必然で、外出の機会が県内でも増えるためやや良くなっていると判断する。
- ・ (県西：人材派遣業) 自社採用を再開した企業が増えつつあるため、市場感としては足並みそろえる形で採用再開する企業が増えてくると感じる。

3 地域別の動向（※調査結果はP.1参照）

（1）県北地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは47.8となりました。前回調査より7.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（食堂）老若男女に関わらず来客数が1月と比べても増えている。当然売上げも増加している。
- ・（製造業（電気機械器具））産業用ロボット関連及び家電関連で、注文数が増えている。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは52.6となりました。前回調査より5.7ポイント上昇して、横ばいを表す50を10期ぶりに上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（レジャー施設）新型コロナウイルスのワクチン接種率が増え、人出も増えると考えられるため、やや良くなっていると判断する。
- ・（小売業（時計））新型コロナウイルスワクチンの効果が出てくるだろうから、ステイホーム以外の物を買う意欲が出て来ると思われる。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（不動産業）不動産建築業に関しては、変わらない状況だが、リフォームについては問合せが増えている。家で過ごす時間が増え、これを機に、「自宅の充実」「自宅のメンテ」を考えるのではと読み取っている。
- ・（製造業（精密機器））材料の値上げの申し入れがいろいろなところからきている。

（2）県央地域

- ① **現状判断：** 景気の現状判断DIは45.4となりました。前回調査より5.0ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（レストラン）新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、高齢者からなのでまだまだ進んでいない状況で、人の動きはまだ鈍い。また、少人数での会食が中心なので客単価もさほど変わっていない。
- ・（製造業（金属製品））以前より需要の低下による過剰な価格競争が常態化し、仕事量が少なく単価も安い二重苦の状況に変わりが無い。

- ② **先行き判断：** 景気の先行き判断DIは57.5となりました。前回調査より1.4ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（商店街代表者）新型コロナ対策のワクチン接種の普及に期待する話題が多くなった。少しずつではあるが、明るい兆しを感じることで期待を持てるようになってきたと思う。
- ・（バス運転手）ワクチン接種の進展や、大規模イベントや東京オリ・パラの開催により、人の動きが一定程度見込まれる。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（道の駅）自粛当初は、家で食事の時にプチ贅沢をして高価な果物などが売れたが、最近は余計なものは購入せず、必要最低限の買物しかしない客が増えた。
- ・（製造業（印刷・関連業））ワクチン接種が進み新型コロナウイルスが落ち着いても、イベント等の開催が以前のように進められるのかなど、先行きが不安である。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは46.1となりました。前回調査より3.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（農産物直売所）新型コロナウイルスのワクチン普及で遠方からの客の来店が多くなった。
- ・（公共職業安定所）新規求人数は増加に転じ回復傾向はみられるが、収入減等から新規求職者も増加している。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種率の向上に左右される。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは55.2となりました。前回調査より1.8ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（ゴルフ場）新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、これまでの閉塞感からの脱却でよりレジャー消費に向かうと思われる。
- ・（製造業（化学工業））ユーザーの生産の稼働率は横ばいの状況が3か月先も続くと思われるので、景気は変わらないと思う。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（スーパー）コロナ禍で内食化と自ら調理する傾向が進んだことにより、スーパーマーケットは生鮮食品や調味料がよく売れたが、惣菜が不振だった。この反動が大きくなっている。内食化が進んだことにより、簡便料理ニーズに合った冷凍食品やキット型の食品が好調を維持している。
- ・（クリーニング店）近所のカーテン工場ではホテルなどに納品しているが、1か月前から仕事が午後2時半に終了している。回復するにはまだまだ時間がかかりそうだ。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは50.9となりました。前回調査より1.3ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（コンビニエンスストア）客数、売上高ともそれほど変わりがない。客単価ともに横ばいで推移している。
- ・（タクシー運転手）新型コロナウイルスの影響が続いているが、前々年比の3月売上げは44%減、前々年比の6月売上げ（見込）は31%減と改善がみられる。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは59.9となりました。前回調査より6.3ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（都市型ホテル）ワクチンを高齢者へ普及することにより、国内の観光需要が今より高まる傾向になると思われるので、景気はやや良くなることを期待している。
- ・（レジャー施設）新型コロナウイルスとの共生が続くなか、感染対策をした上で営業は続けていくため、今後も段々と景気が改善方向に向くと考えた。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント（抜粋）》

- ・（サービスエリア）休日のエリアへの立ち寄り増を感じ、バスの利用も少しずつではあるが見受けられる。
- ・（民間職業紹介業）50歳代以上の就業希望者が増えた。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは46.1となりました。前回調査より1.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を29期連続で下回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(製造業(非鉄金属)) 半導体の影響により販売数量が5月は落ち込んだ。しかし6月からは輸入製品が入らず国内の製品にシフト。国内の販売量が増えてはいないので景気が良くなったとは感じられない。
- ・(旅行代理店) アフターコロナを見据えた動きが顧客の企業でも増えてきているため、求人関係の仕事の発注量が伸びている。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは54.7となりました。前回調査より4.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(観光型ホテル) ワクチン接種が行き届いて、人の流れが回復すれば必ず少しずつ景気は回復してくるものと期待している。
- ・(求人開拓員) 新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいるので、3か月後には経済活動もコロナ禍以前に向かいつつあると予想される。

③ 特徴的動き

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(金融業) 木材料が急騰しており、今後一般住宅の価格が高まることが懸念されている。
- ・(求人広告) 飲食店の空室が目立つ。飲食店は退去し、借り手が見つからないテナントが目立ち、町に活気がない。

4 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワードを含むコメントを掲載しています。

- ・「新型コロナウイルス」に関するコメント 242件(県北:49 県央:42 鹿行:52 県南:49 県西:50)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(商店街代表者) 新型コロナウイルスの影響に伴い、仕入れ先では販売方法や組織の変更などが多くみられるようになった。例年になく人事異動が多い気がする。
- ・(不動産業) 新型コロナウイルスの影響により家賃の減額交渉は今後も増加しそうだ。

- ・「ワクチン」に関するコメント 133件(県北:24 県央:34 鹿行:27 県南:26 県西:22)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(旅行代理店) 秋の旅行シーズンへ向け、ワクチン接種が進む見通しがある。
- ・(学校就業関係者) ワクチン接種者数が増え、感染拡大防止が成され、徐々に重症化も防げるようになるのではないかと考えている。結果、景気も少しずつ良くなるのではないかと思う。

- ・「オリンピック」に関するコメント 43件(県北:4 県央:8 鹿行:7 県南:13 県西:11)

《景気ウォッチャーのコメント(抜粋)》

- ・(タクシー運転手) 3か月後の9月は、間にオリンピックがあり、新型コロナウイルスのワクチン接種も数字が上がり、さらに緊急事態宣言がなければ景気も上向いてやや良くなっていくのではないかと思う。結局は景気が良くなるも悪くなるもコロナ次第というところだと思う。
- ・(スーパー銭湯) ワクチンの順調な接種が進み、オリンピック開催による感染拡大及び変異型ウイルスの急速な感染拡大がなければ景気としてはやや良くなっていると判断する。